

これまでの検討内容と今回の議事

【章立て】

はじめに

1 改定の趣旨

(1) 改定の趣旨

(2) 国の動向

(3) 他計画等における水素の位置づけ

(4) これまでの取組

これまでの
検討会で説明済

今回の検討会で
案を提示

2 水素を活用する意義

3 2050年の水素社会の姿

4 将来需要量の推計

5 サプライチェーンの展望

これまでの検討会で議論、
水素社会推進会議に意見照会

6 取組の方向性

(1) 短中期的取組

(2) 中長期的取組

今回の検討会で意見交換

取組の方向性について

意見交換の趣旨

- 水素関係トップランナー企業や技術力の高い中小企業の集積、臨海部での大量の水素需要ポテンシャル、地理的な強みや交通インフラの充実等が本県の強み。一方で、水素コストの低減、更なる技術開発、社会的な理解や機運醸成が水素社会に向けた全国的な課題。
- このため、①水素利活用の拡大、②水素サプライチェーンの構築、③水素関連産業の振興、人材育成の推進、④普及啓発・理解促進が対応の柱。この4分野で、本県の強みを活かした取組の方向性を整理。
- 取組は社会実装の進展等に応じて時系列的に変化。短中期（～2030年代後半）、中長期的（2035年頃～）の各フェーズごとに取組方針を示し、取組の方向性を整理。

論点 1

課題認識と対応分野、各フェーズにおける取組方針は適切か？

論点 2

論点 1 を踏まえ、取組の方向性は適切か？
(产学研官で進めるべき具体的な取組方策は?)

ご意見を踏まえ、とりまとめ